

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1108	(H.24)No.	1108
-----------	------	-----------	------

事務事業名	美しい森林づくり基盤整備交付金事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
産業部	農林資源室	西森 平太郎	63-7625
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 18 年度 ~ 平成 38 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3 新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	2 森林環境整備
	小施策	2 豊かな森づくり
重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	340510
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 農林水産業費	林業振興対策費	
項 林業費	(小事業名)	
目 林業振興費	美しい森林づくり基盤整備交付金事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>[森林環境創造事業] 赤目町長坂地区(45.97ha) 青蓮寺地区(41.84ha)の下草や広葉樹の導入を目的とする調査、間伐、受光伐、広葉樹植栽等を継続的に実施。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>森林を公共財産ととらえて、下草や広葉樹の導入を目的とする間伐を継続的に実施し、針広混交林など多様で力強い森林づくりを行うことによって、森林の持つ公益的機能の高度発揮を図る。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	赤目環境林 除伐 = 5.1ha 間伐 = 7.0ha	赤目環境林 除伐 = 3.0ha 間伐 = 12.0ha 現地調査 = 10箇所	指定管理	補助金・交付金	その他 ()
	青蓮寺環境林 現地調査 = 9箇所	青蓮寺環境林 除伐 = 2.0ha 間伐 = 8.0ha	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
			赤目及び青蓮寺の環境林 除伐 = 5.0ha 間伐 = 20.0ha	赤目及び青蓮寺の環境林 除伐 = 5.0ha 間伐 = 20.0ha	赤目及び青蓮寺の環境林 除伐 = 5.0ha 間伐 = 20.0ha
直接事業費	1,998千円	4,000千円	4,000千円	4,000千円	4,000千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金	300	1,000	1,000	1,000	1,000
県支出金	1,358	2,400	2,400	2,400	2,400
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 340	600	600	600	600
人工数					
職員	0.04人	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人
臨時職員等		0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
概算人件費	(0千円) 292千円	966千円	966千円	966千円	966千円
+ 総事業費	(0千円) 2,290千円	4,966千円	4,966千円	4,966千円	4,966千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
活動指標	目標	環境林の整備面積及び間伐等の森林施業面積[延べ値]	ha	-	-	-	-	25.0
	実績			46.3	65.0	68.4	80.5	
	目標							
	実績							

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
除伐・間伐を中心とする森林施業により、対象森林の環境は向上したが、対象面積が12haとやや少なかった。	対象森林が、環境林として、より早く公益機能発揮し、さらに、その機能増進が図られるよう、三重県及び国に対し計画的で継続的に補助金交付されるよう要求する。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
事業の予算的環境は、国が要求額の5割と非常に厳しく、さらに、三重県についても林業振興分野は予算の選択・集中が行われている結果、当該事業は前年度の9割程度と見込まれる。	事業主体である伊賀森林組合からは、国の交付額削減により縮小した国庫補助事業分については、三重県及び市が交付額削減を補完するかたちで、県単による森林環境創造事業を実施するよう期待するとの意見。国補 5/10・県4/10・市1/10、県単 県8/10・市2/10

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢) の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
30ha以上の一連の団地(森林)を対象に、名張市と地権者と伊賀森林組合の三者が森林施業について協定(20年間)を取交わしており、協定内容に関する期間、箇所、面積等の変更は、協定期間中であることから対応が困難。

特記事項

--